

当校の自己評価に関する報告

～学生と教員による授業・実習評価と教職員による学校運営評価～

令和3年4月

酒田市立酒田看護専門学校

草刈 妙

はじめに

2002年3月の「専修学校設置基準」改正により、専修学校は教育活動の状況について自己点検・自己評価を行い、その結果を公表するよう努めなければならないと定められました。

このような学校運営管理や教授活動の学生評価は、質の高い教育を維持するために教員の授業改善が目的であり、学校全体としては、新カリキュラムの構築や教育環境の改善に関する課題を示唆するものであると考え実施いたしました。

1. 調査方法

当校では令和2年度の1年間で、以下の2点について評価を実施しまとめました。

1) 教授活動の評価

評価をする授業と実習は、学内の資質向上委員会の検討を経て、学生と教員へのプレテストを実施後、当校の評価表を作成しました。

担当領域で評価を実施することを原則として前期・後期に担当する1クールずつを選択し実施しました。17項目について最高点4点の4段階評価を実施しました。ここでは、7領域の学生による実習の授業評価の結果を報告いたします。調査した7領域は、基礎・成人・老年・精神・小児・母性・在宅であります。

2) 在学生の保護者による学校運営と教授活動の評価

令和2年度在学生の保護者に対して、学校運営と教授活動に関するアンケートを実施しました。この評価表は、文科省の学校評網野らの「学校経営と管理」¹を参考に、自校の教育内容に則して項目を抽出し構築しました。「教育理念・目標」「教授活動」「地域の啓蒙活動」「学校運営管理」について17の項目でA=3点B=2点C=1点を配点し達成率を集計しました。令和2年度の在学生保護者75名に郵送で依頼し、51名(68%)の解答を得ました。

倫理的配慮

学生には、教授活動における改善以外に使用しないこと、成績には一切影響しないことを紙面と口頭で説明したうえで、同意できるものは無記名で回答し、投稿する箱に自由意思で投函することとしました。

教員には、今年度の学校運営会議での同意を得たうえで、教授活動の質向上と学校として運営管理の示唆を得ることを目的に実施することを伝え、同意を得ました。なお、全体としての報告は氏名を伏せて行うこと、結果は教員の個人に副校長が集計・分析して面談で解答することを説明しました。

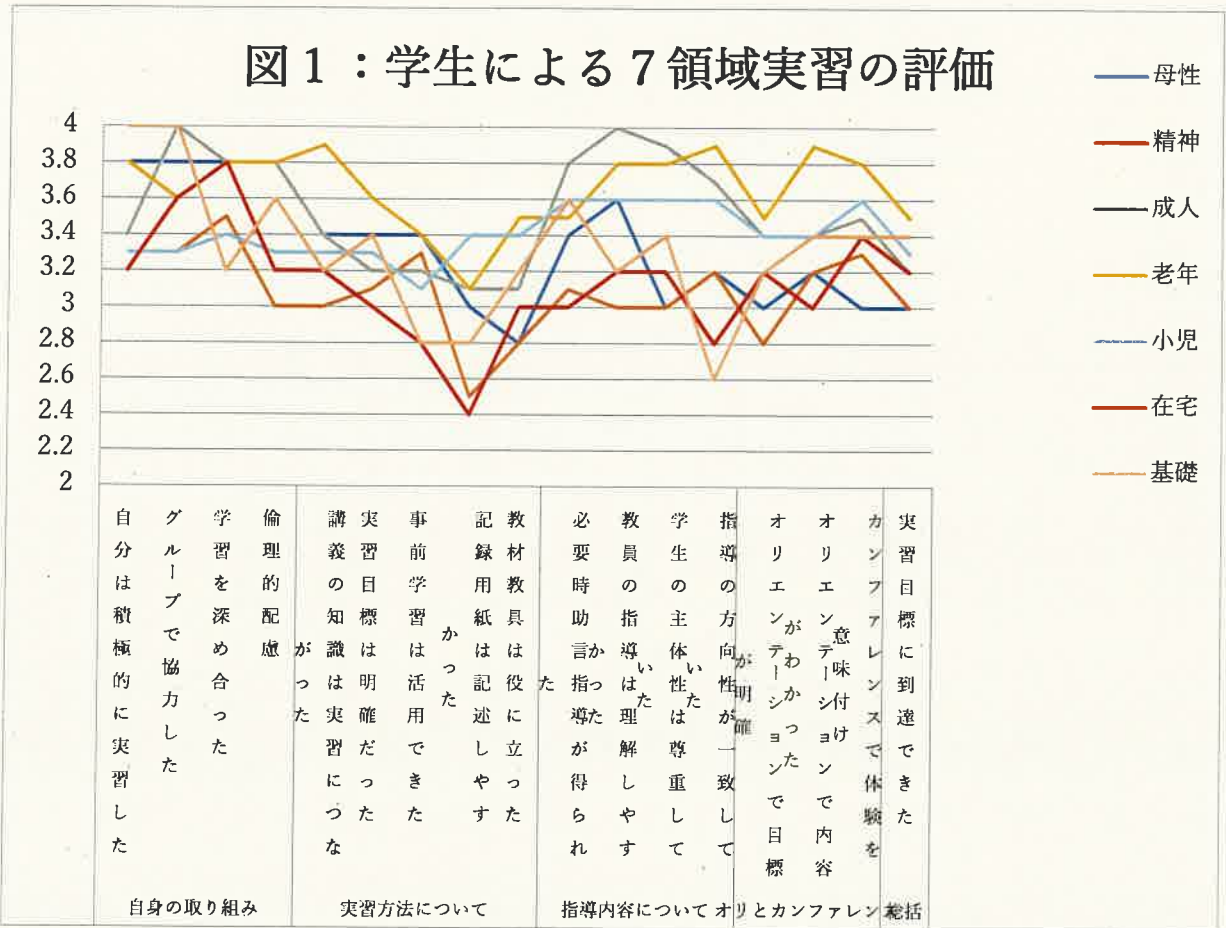
2. 結果

1) 教授活動の評価

実習は7領域の1回ごとの実習について、学生から評価をうけました。図1は7領域のそれぞれの実習評価の集計を一覧にしました。母性・精神・成人・老年・小児・在宅・基礎看護学の7領域です。

領域で比較しますと、記録用紙の記述しやすさは総じて評価が低くなっています。特に在宅看護論実習については早急な改善の取り組みが必要と考えております。

指導の一貫性については、在宅看護論と基礎看護学で低い結果となりました。基礎看護学は実習に慣れていない1年生が学習する科目で、教員が複数で関わることもあり、指導の一貫性はとりわけ重要と考えます。教員同士のコミュニケーションや情報交換が課題と言えます。

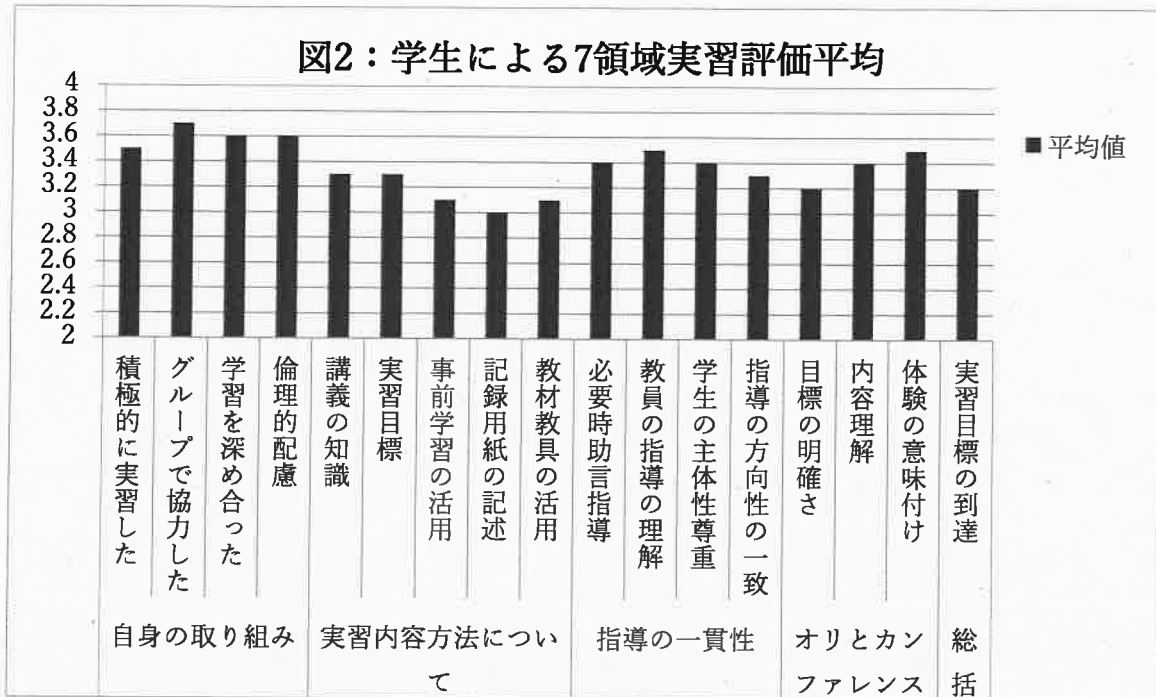


次に7領域の評価項目毎の平均値を図2に示しました。実習の教授活動に関する大項目は「学生自身の取り組み」「実習内容・方法について」「指導の一貫性」「オリエンテーションとカンファレンス」「総括」であります。

「学生自身の取り組み」は4つの小項目とも高く平均評価は3.5以上でした。

「実習内容・方法について」は5つの小項目で平均3.1でした。特に「記録用紙は学習の内容を記述しやすい構成だった」については3の評価です。実習で学んだ内容を反映し記述しやすく、教員も学びの内容を判断しやすいものであると考えると改善する課題であると認識します。

「オリエンテーションとカンファレンス」は学びの意欲や関心を高め、学習の動機付けとなるもので「実習目標の明確さ」は当然学生にわかりやすく伝わらなければならないところです。これも改善の必要があると認識しました。



2) 在学生の保護者による学校運営と教授活動の評価

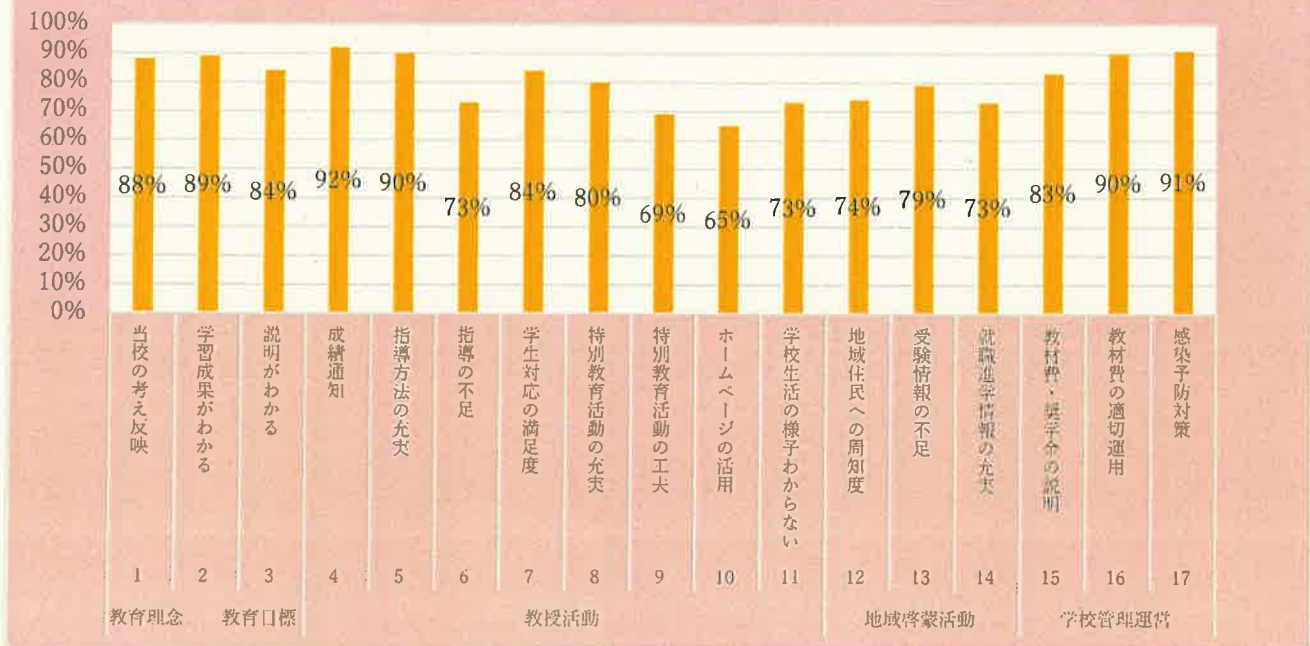
令和2年度の在学生75名の保護者に、学校運営と教授活動についてのアンケートを送付し集計しました。17項目についてA=3点B=2点C=1点を配点し達成度を%で表しました。図3に表示しました。

項目の評価で一番低かったものは「10.当校の学生生活や行事の様子はホームページで見る」65%でした。次の「11.学生生活の様子はよくわからない」は73%で、ホームページの存在や掲示の内容について広報が不足していることがわかります。ホームページの更新は学校行事や募集要項の掲載にあわせて2か月に1回ほど実施しています。広報の内容や仕方等が課題と認識します。

また「8.特別教育活動が充実している」は80%でしたが、特別教育活動自体が何のことかわからないというご意見もありました。1年生の宿泊研修や2年生の宣誓式などですが、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響でこうした活動の縮小や取りやめをしたため、「9.特別教育活動の工夫も必要」と感じた方は69%でした。看護の教育では人とのふれあいで学びを得るものが多く、コロナ禍ではこうした行事や活動の存続は難しいですがオンラインやICTを活用する等の工夫は早急な課題と考えております。

「5.指導は充実している」は90%と高い評価を頂戴した一方、「6.指導は不足している」73%の解答もありました。指導の不足点については、教員も自覚するところであります。月2回の教員会議では指導の在り様や学生の反応を情報交換し、指導方法を全員で模索しております。教員は広い視野で柔軟に考え、学生の思考を大切に指導できるように継続した取り組みをして参ります。

図3：学校運営・教授活動について
保護者へのアンケート結果



3. 自由記載について

返信いただいた51通の内、自由記載には12通の記載がございました。ありがとうございます。
いただいたご意見をご紹介します。現段階でのご回答をいたします。

ご意見1：生徒一人ひとりへの指導が充実していない。評価に矛盾点がある。

保護者様のご子息、ご息女と日頃から当校の指導の様子を話しておられる様子がお伺いできます。
頂いたご意見に具体的な内容はありませんが、学生個々への指導の充実と公平・公正な評価は、学校組織として目標にしているところであります。評価に矛盾が生じないように今後も努力して参ります。

ご意見2：成績評価についてはもう少し早く知りたい。後期は特に進級できるかどうか親としても早めに知りたい。学祭のPRをもっとして若者達（高校生・中学生）が見に来たくなるようにしたいと思う。

成績評価についての通知については、ご意見通りできるだけ早く通知して参りたいと存じますが、後期は特に3月初めまで実習や試験がありまして、進級に係る会議を経ての通知となります。尚、試験や実習の評価結果はその都度学生に返却いたしておりますので、ぜひ話しを聞いていただきたいと存じます。学祭のPRについては、学生達が自主的に行っております。よいアイデアなどありましたら、ご意見賜りたいと存じます。

ご意見3：アンケート中（9番）特別教育活動の企画・運営について、詳細がどのようなことかわからず提示して頂けたらと思います。

特別教育活動とは、1 学年での宿泊研修や 2 学年での宣誓式のことで、カリキュラム上にないが学生の主体性や専門職としての自覚を促すような活動であります。令和 2 年度はコロナ禍で、このような活動が縮小や中止になることが多く、アンケートに質問そのものが適していなかったと反省しております。

ご意見 4：入学時から仲間が一人去り、2 人去り・・・かなり残念です。

ご意見 5：入学時から現在に至るまで退学者が多いことに驚きと残念な気持ちでいっぱいになります。

ご意見 6：他の専門学校に比べると留年、退学者数が多いように感じるが、当たり前のように何でも 3 年間で卒業できるという甘さがないので真剣に取り組み落ちたくない気持ちで臨めるのでいいと思う。

留年者や退学者について多いのではというご意見が 3 件ほどありました。

留年の場合は、ほとんど成績不振や試験の不合格が理由の単位未取得によるものです。しかし、看護師の勉強をあきらめたくないという学生が本人の意思で決めることでもあります。下級生に机を並べることは、勇気のいる選択ですが、我々はその勇気と学業への意思を尊重して応援して参ります。

退学者には様々な理由があります。成績不振で単位が取れないことはもちろんですが、実習してみたら自分に看護の仕事は合わないとわかって違う進路を進む学生もおります。いずれにしろ、看護師の国家資格を取得する試験に臨む教育ですから厳しいです。これは、当校に限ったことではないのですが、意思のある学生を支援して参りたいのは共通する理念だと思えます。

ご意見 7：計画的に課題を出さないでください。

カリキュラムや実習が組まれる時期が概ね決まっているので、その時期に合わせて課題は出されることが多いです。このご意見は、日常の課題も出してほしいということでしょうか。科目ごとの課題も出すタイミングと内容を工夫して参りたいと思えます。

ご意見 8：「こんなに寝られないのか」「実習中倒れないか」と心配します。身体と心が持つのか。

なるべく学生個々の状況を見極めながら指導をしていきますが、患者さんを受け持つ実習は待たなしの状況で、そのタイミングでないと経験できない場面があります。あまり過度な負担がかからないように配慮して参ります。ご家庭やご家族もお声がけをお願いしたいと存じます。

ご意見 9：とても恵まれた教育環境にあるのだから庄内だけでなく他地域の人を呼べる取り組みがあればいいと思います。例；学生寮、食堂完備、こまめなHP更新など

具体的な例を挙げてご意見感謝いたします。酒田市へ報告して検討して参りたいと存じます。

ご意見 10：「身だしなみ・挨拶」等基本的なことが見直しできていて、感謝している。

ご意見 11：親身に相談にのってくれている様子が子どもから伝わります。感謝しています。

ご意見 12：コロナ禍で実習も心配していましたが、実習はワクチンを 2 回予定通り済み、安心しました。

上記に示したような感謝を書きくださった方も多く、教職員一同ご理解いただいていることに感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の中、実習のご心配を書きくださったものもありました。看護学生は医学生等と

同様、医療現場での研修が必要と国が認め、医療者と同じ扱いで予防接種ができております。これについても、ご理解ご協力いただいております医療施設の方々に感謝申し上げる次第です。

引用・参考文献

- 1) 網野寛子他：看護教員のための学校経営と管理，医学書院，2008
- 1) 看護等養成所の教育活動に関する自己評価指針，厚生労働省，2003
- 2) 屋宜譜美子・目黒悟：教える人としての私を育てる，医学書院，2010